



食品と放射能のお話 3回シリーズ

第3回「食品の安全確保の取り組み」

～福島第一原子力
発電所の事故から～

生産者が管理している農産物や畜産物では、放射性物質検査の結果において基準値^(※)の超過はみられません。

基準値については
1月号を
参照ください



野生のきのこや山菜、野生鳥獣肉等は、生産者による管理が困難で、一部の地域・品目で基準値を超えることがあります。

1. 安全な食品を生産するための取り組み

■農産物や畜産物

- 農作物が根から放射性物質を吸収しないよう、表土の削り取りや土壌の入れ替えなどが行われています。
- 米などには、放射性セシウムの吸収を抑える働きがあるカリウムを有効成分とする肥料を適切に使っています。
- 果樹は、事故直後に、樹体表面の粗皮の削り取りや高圧水による樹体洗浄等が行われました。
- 肥料や土壌改良剤、培養土等の生産資材や、家畜に与える牧草や稲わらなどの飼料は、放射性セシウムの暫定許容値が設けられ、管理されています。

■水産物

- 海水魚や淡水魚の性質や生息場所を考慮したモニタリング検査が、対象の都道府県で行われています。
- 福島県では公的検査に加えて、漁協が水揚げ日ごとに、出荷予定の全魚種を対象に自主検査を行っています。

2. 福島第一原子力発電所の事故直後から、放射性物質の基準値を超える食品が流通しないように管理されています。

■出荷前にモニタリング検査が行われています。

各都道府県が、過去の検査結果などを分析し、基準値を超える可能性がある品目、地域について、重点的に検査しています。

■基準値を超える食品が見つかった場合は、回収・廃棄されます。

■基準値を超える地域の拡がり等が確認された場合は、「出荷制限」が行われます。



3. 安心のためにいずみ市民生協でも検査をしています

商品検査センターでは事故直後から、放射性物質の検査をしています。基準値を超えることはなく、ここ数年の検査結果は、すべて「検出せず^(※)」となっています。

※検出せず：検出下限値 (12.5Bq/kg) 未満

■検査結果は、毎月Voiceの「品質管理だより」12ページで報告しています。



いずみ市民生協の「品質・衛生」管理報告

11月度報告

商品検査

組合員の商品に対する信頼にお応えするため、「コープ・ラボ」では生協が取り扱っている商品をさまざまな検査によってチェックしています。11月度の不適合は7件で、前月と同じ件数でした。検査結果を取り先に報告し、食品事故の未然防止に努めています。

商品検査実績

	農産物	畜産物	水産物	加工品	惣菜	合計
検出	1,655	142	147	16	9	1,989
検出率	64	16	14	0	0	94
合計	1,719	158	161	16	9	2,063
不適合件数	7	0	0	0	0	7

放射性物質検査結果

商品名	産地情報	検査	放射性セシウム (134Bq/kg)	放射性セシウム (137Bq/kg)
信州産白飯(ジュース)	長野県	【宅配】 検査済み	検出せず	検出せず
国産甘藷(しょうが)	製造： 埼玉県	【宅配】 検査済み	検出せず	検出せず

参考
食品の検査結果や出荷制限に関する情報
:消費者庁

